

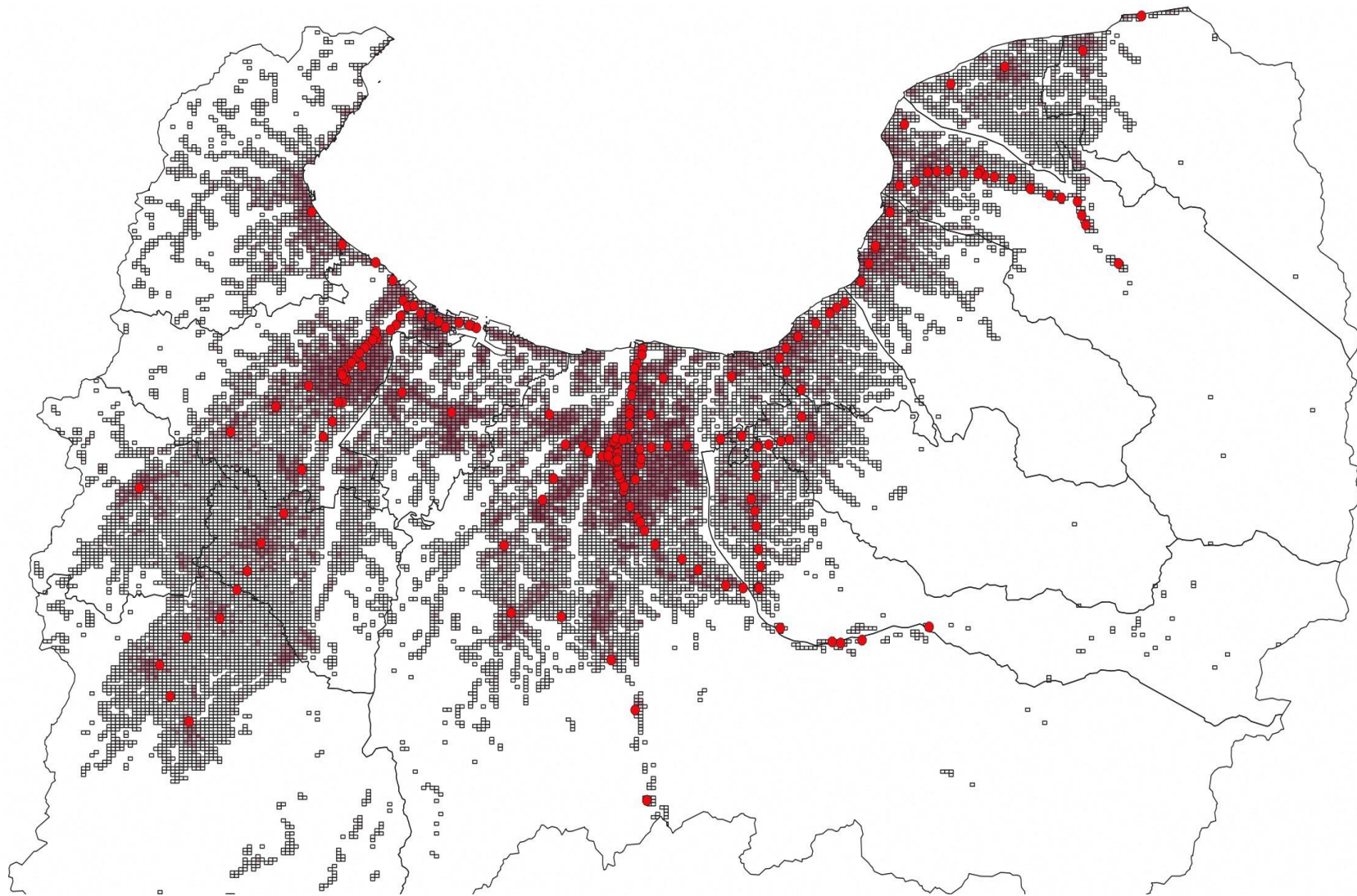
○県内すべての市町村に鉄道駅が存在。

1/12 鉄軌道サービス部会 資料抜粋



- 北陸新幹線
- (凡例) ●● JR 城端線、氷見線、高山本線
- あいの風とやま鉄道
- 富山地方鉄道 (本線、立山線、不二越・上滝線)
- 富山市内軌道 (富山軌道線、富山港線)
- 万葉線

○鉄道駅の周辺に人口集積しており、駅を地域の拠点としたまちづくりが可能。



○ 一部の市町村では、駅やその周辺を地域の拠点としたまちづくりが行われている。

<魚津駅の例>

魚津駅駐輪場の整備

- ・ 北側駐輪場の改修
- ・ 南側駐車場の移転整備（R5年度）



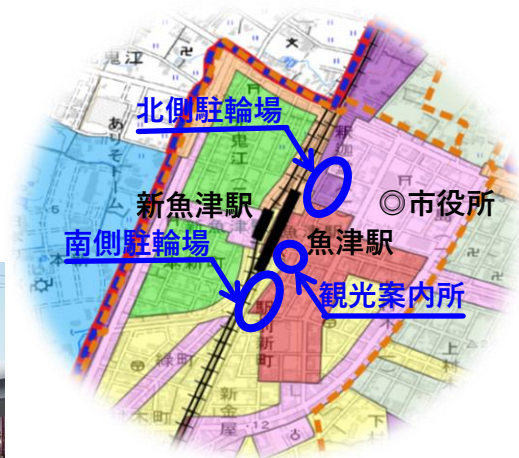
北側駐輪場（改修前）



改修

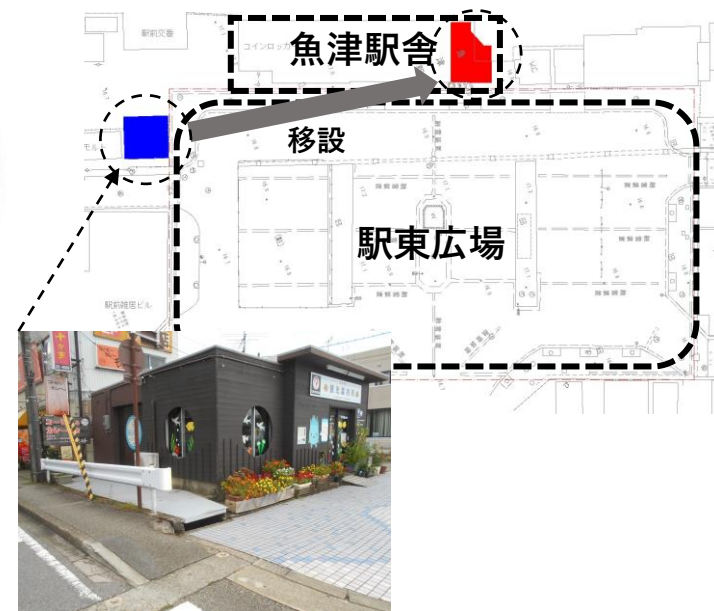


北側駐輪場（改修後）



観光案内所の整備

- ・ 別棟であった観光案内所を駅舎内に移転リニューアル
- ・ 外部出入口のほか魚津駅待合所と隣接・往来可能



（魚津市より提供）

2022年度 富山my route 目標

目標：富山県内での【日常使い】の拡大

■ 県民の【利便性が向上】する交通サービスの提供

⇒ より多くのモビリティサービス・交通モードとの連携 = 県内交通を繋ぐMaaSアプリとしての地位確立

■ 【おでかけしたくなる】サービスの提供

⇒ 県民が使いたくなるお得で魅力的なサービスの提供 = 交通と観光を組み合わせたサービスの提供

⇒ アフターコロナを見据えた観光振興も

KPI①

推計ダウンロード数：18,000件 DAU：140件/日

KPI②

ルート検索利用者数：55件/日 バスロケ利用者数：15件/日

KPI③

デジタルチケット販売枚数：1,300枚

2022年 デジタルチケット 全県展開

✓ 交通と観光がセットになったデジタルチケットを順次販売開始

2021年

- 富山地方鉄道株式会社
市内電車・バス 1日フリーきっぷ
One-day hop-on hop-off Railway & Bus Pass
FREE PASS
電車バスで市内めぐり (Tram&Bus)
- 富山地方鉄道株式会社
鉄道線・市内電車 1日フリーきっぷ
One-day hop-on hop-off Railway & Tram Pass
FREE PASS
富山地方鉄道
- 石動⇄越中宮崎
Isurugi sta. ⇄ Etchū - Miyazaki sta.
1日フリーきっぷ
Ainokaze Toyama Railway One day Pass
2022年度

2022年

- 12月発売開始**
万葉線株式会社
新湊海鮮グルメ堪能 & 万葉線1日フリーチケット
- 3月発売開始**
6時間フリー乗車券 1,000円 (5-8割OFF)
岩瀬おさんぽフリーチケット
乗車可能区間: 軌道線・フィーターバス全区間
- 10月発売開始**
1日に何度も乗り降りOK!
とやま 1日乗り放題きっぷ
(土日祝日限定) 1,000円 (500円OFF)
- 11月発売開始**
とやま周遊2dayパス
Toyama 2day tour Pass
ご利用可能エリア内2日間乗り放題
- 9月発売開始**
殿さま街道フリーパス
- 12月発売開始**
五箇山・白川郷フリーきっぷ
世界遺産バス
高岡駅前・新高岡駅 ⇄ 白川郷
- 11月発売開始**
富山空港まちなかフリーチケット
500円 (4割OFF)
30時間フリー乗車券
- 9月発売開始**
富山市内まちなかおでかけチケット
500円 (4割OFF)
8時間フリー乗車券

2023年 発売開始予定 ※調整中

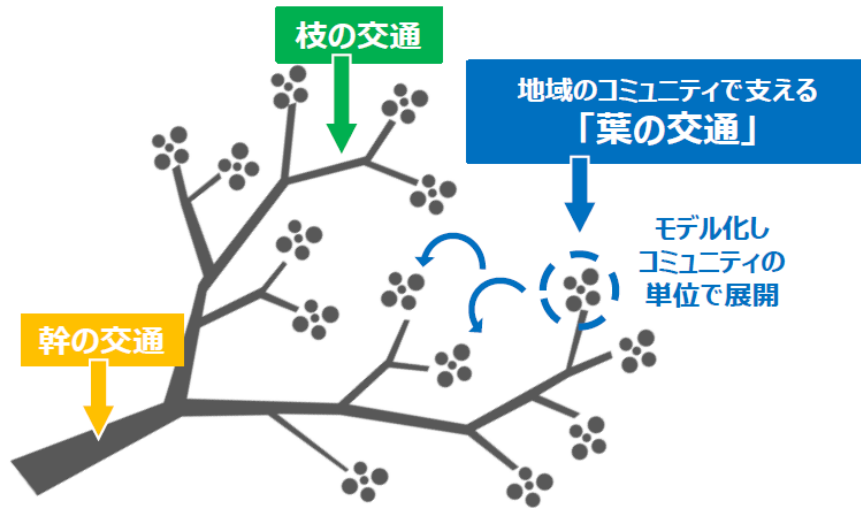
c 2023 TOYOTA MOBILITY TOYAMA CORPORATION

My route by KINTO 富山がもっと楽しくなる。

アフターコロナ時代に向けた地域交通の共創に関する研究会

- 危機に瀕する地域交通について、感染症を契機に人々の暮らしをめぐる環境や価値観も大きく変わる中、**地域交通の持つ価値や役割を見つめ直し、移動サービスの質・持続性を向上するため、地域の多様な関係者による「共創」に係る実地伴走型の研究会を設置。**令和3年11月にキックオフ、令和4年3月中間整理。

研究会のキーコンセプト



目的

- ・ **ファーストワンマイル**（自宅からの最初の移動）を発想の起点として、主に「**葉の交通**」について、**多様な主体の「共創」**を実践することにより、**暮らしのニーズに基づく持続可能な交通を実現するモデルを研究する。**

研究のスコープ

- ・ 地域の「ひと」の「暮らし」の充実を捉えた**移動の価値創出**
- ・ **持続可能な地域経営**—地域内ファイナンス・地域合意形成
- ・ 多様な主体が担う**交通セーフティネット** 等

研究会メンバー（敬称略・50音順）

【メンバー】

大下 篤志 株式会社みちのりホールディングスディレクター
 神田 佑亮 呉工業高等専門学校環境都市工学分野教授
 田中 仁 株式会社ジズホールディングス代表取締役CEO
 長谷川エレナ朋美 株式会社 LUMIERE 代表/作家
 古田 秘馬 プロジェクトデザイナー/株式会社umari 代表取締役
 三ツ谷 翔太 アーサー・ディ・リトル・ジャパン株式会社パートナー
 森田 創 合同会社うさぎ企画代表社員/作家
 吉田 樹 福島大学経済経営学類准教授

【オブザーバー】

国土交通省 総合政策局 総務課 総合交通体系
 不動産・建設経済局 参事官付
 都市局 まちづくり推進課
 鉄道局 鉄道事業課
 自動車局 旅客課
 海事局 内航課
 国土交通政策研究所
 各地方運輸局交通政策部交通企画課等
 観光庁 観光地域振興部 観光資源課
 内閣府 成果運動型事業推進室
 厚生労働省 老健局 認知症施策・地域介護推進課
 環境省 大臣官房 地域脱炭素政策調整官
 日本銀行 金融機構局 金融高度化センター
 株式会社日本政策投資銀行
 株式会社博報堂

【事務局】

国土交通省 総合政策局
 公共交通・物流政策審議官部門 地域交通課
 EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社



デマンド交通（チョイソコ）

NPO法人余川谷地域活性化協議会が、この課題解決に取り組むため、民間企業と連携し、令和5年1月から約2か月の試験的な区域運行(ドアtoドア方式のデマンド運行)を実施。

●連携民間企業等

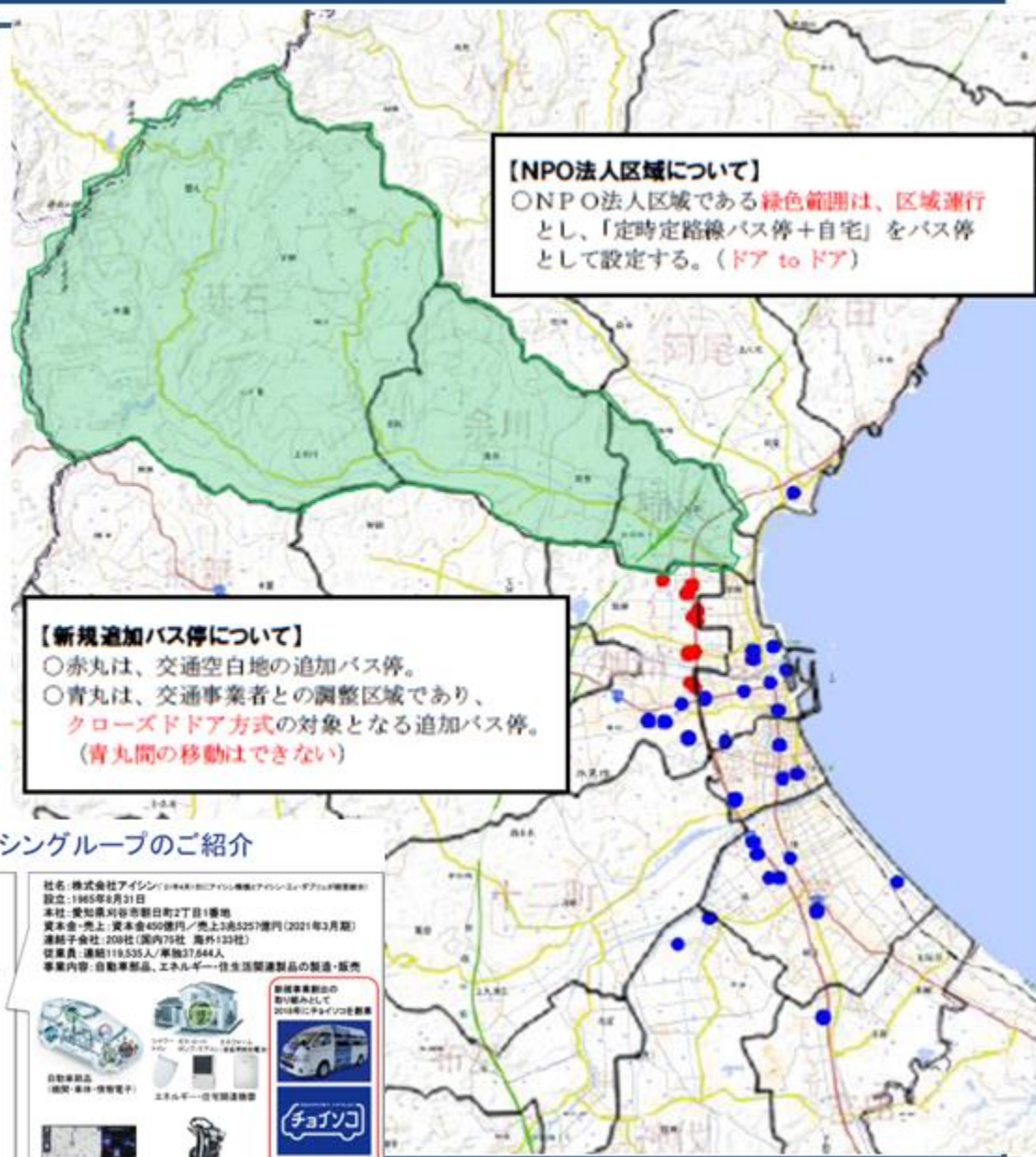
ネットヨタ富山株式会社

- ・令和4年度中山間地域等買い物弱者対策モデル実証業務委託事業(県地域産業支援課)を活用
- ・アイシンのチョイソコ

●課題解決の方向性

- ①空車運行の効率化
- ②バス停移動困難の解決(ドアtoドア)や目的地設定による利便性向上と定期券利用増加による路線収入増

⇒デマンド運行には、システム利用料やコールセンター人件費などの費用がかかり、これ以上の地域負担は難しく、地域の運行財源に課題がある。



チョイソコの特長 高齢者利用に最適化された運行システム

チョイソコは会員登録された利用者から乗車依頼を受け、最適な乗り合わせと経路を計算し、目的地まで乗り合い送迎でお運びするしくみです。



アイシングループのご紹介

トヨタグループ TOYOTA

- トヨタ自動車株式会社
- 株式会社豊田自動織機製作所
- 株式会社デンソー
- 株式会社アイシン
- 愛知製鋼株式会社
- 株式会社ジェイテクト
- トヨタ車体株式会社
- 豊田通商株式会社
- トヨタ紡織株式会社
- 東和不動産株式会社
- 株式会社豊田中央研究所
- トヨタホーム株式会社

トヨタグループ16社

社名:株式会社アイシン(旧名:アイシン精機株式会社)
 設立:1965年8月31日
 本社:愛知県刈谷市春日町2丁目1番地
 資本金・売上:資本金400億円/売上3兆5257億円(2021年3月期)
 連結子会社:208社(国内179社/海外129社)
 従業員:連結119,535人/単独37,644人
 事業内容:自動車部品、エンターテインメント生活関連製品の製造・販売



最新事業最前線の取り組みとして、2024年10月に「チョイソコ」をスタート

チョイソコ